

育児視点で考えるまちづくり

JR芦屋駅 南開発

2021年11月21日

1

はじめに・駅前開発への期待

建築設計・まちづくり活動に携わり、
小学生の子どもを持つ育児世代からの視点

課題と期待

今の不満は何か
どう良くなるか

→開発自体は楽しみにしている人が多い
(リニューアルは嬉しい)

2

保護者視点

→平日毎日

通勤・通学・子ども送迎（AM 7～9）

課題：朝は持ち時間がタイト

期待：混雑でもスムーズに

→平日時々（AM 11～15）

大人のみまたは幼児交え息抜きや会合

課題・期待：商業店舗利用以外に

コミュニティとしてのテラス（半屋外）

ベンチスペース・動線混じらないエリア₃

子ども視点

→友達・送迎保護者と習い事アクセス（PM3～6）

課題・期待：待ち合わせしやすいエリア

→イベント開催（AM10～15）

Xマス、ハロウィン、発表会打ち上げetc.

課題・期待：公共レンタルスペース人気で予約難

・コンパクトな規模で需要増（5～10名）

・アクセス重要視、駅前は便利で魅力

（子どももわかりやすい）

※週末はAM10～20頃・駅前エリアは魅力

→お出かけのアクセス

課題・期待：お出かけ前の食事・ショッピング
(食事・手土産・子どもグッズ)

※ただし多少生活の変化があり、
公共交通機関利用は自家用車の傾向も強まった。
それでも駅利用は多いので環境は大事。

5

※週末はAM10～20頃・駅前エリアは魅力

→イベント開催エリア

課題：イベントやマーケットスペースが少ない
狭い（企画の声や需要はある）

期待：北側オープンエリア以外でも屋外利用
幼児連れ・ベビーカーでの出かけやすさ
歩く練習中の幼児も安心して同伴



6

育児世代

働き方の変化・育児は協働

在宅ワーク者の増加・小さく細かく働く
同時並行で色々なことをしながら働く
男女関係なく「仕事・家庭」に向き合う

→駅＝移動・ついでの買物・食事だけでなく
駅周辺の環境を重要視

施設を作れば消費に動くということもない
(買うのはネットで安く、の世代)

7

親（シニア）世代

ラポルテ北館側
前開発オープン当初の様子



特徴ある美観、余裕を感じるか

JR新快速の停車駅周辺は大体同じ印象と指摘

※今のシニア世代は外出を楽しんでいる

あちこち比較できる経験があり、楽しみたい 8

子ども世代

利用する駅環境の安心感・わかりやすさ
育った街への愛着や思い出
(その中心的な環境に駅がある)



施設よりも景色・人・経験の記憶

9

駅前商業施設の「あり方」は

開発後、どうなるのか

- ・ 景観整備は嬉しい（綺麗に利用する意識へ）
ただし、どこにでもある雰囲気だと寂しい。
- ・ 海外ショッピングモールと同じ様子だと残念。
- ・ 子ども世代への責任。

今だけにフォーカスしない。

(生活様式は容易に変わることを実感)

- ・ 訪問者・市民にとって「良さ」があればいい。
何が潤うのか？何が発展して行くのか？

南側街並みも期待をしている

10